

# Société Franco-Japonaise de Philosophie

# 日仏哲学会

会報96号 2022年2月19日

## 【重要】2022年春季大会は、全面オンライン(ZOOM)開催となります。

今回こそは対面開催が可能かと期待しておりましたが、皆様ご存じの通り、昨年末からオミクロン株による新型コロナウイルスの感染急拡大があり、にわかに先行き不透明な状況になりました。これを踏まえて、理事会での協議の結果、3月19日(土)に早稲田大学にて開催が予定されていた春季大会は、全面的にオンライン(ZOOM)での開催とすることに決まりました。会員の皆様には、ご負担とご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

大会への参加方法などは、基本的には2020年秋以来のオンライン大会の際と同じです。ZOOM使用の際のマニュアルや注意事項などについては、大会の一週間ほど前に「日仏哲学会オンライン大会の手引き」をお送りしますので、そちらをご参照下さい。

当日のアクセスのためのZOOMミーティングのURL等についても、マニュアル送付時に合わせてメール(メール未登録者には郵便)でお伝えします。連絡を確実にを行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、事務局([secretariat@sfjp-web.net](mailto:secretariat@sfjp-web.net))までご連絡下さい。

ご質問やご相談には可能な限り対応いたしますので、事務局([secretariat@sfjp-web.net](mailto:secretariat@sfjp-web.net))までご連絡下さい。

## 【春季大会プログラム (HPにも掲載します)】

日時 2022年3月19日(土)

場所 オンライン会議(ZOOM)

一般研究発表 9時30分-12時40分

\*発表時間帯

- ① 9時30分 - 10時10分
- ② 10時20分 - 11時00分
- ③ 11時10分 - 11時50分
- ④ 12時00分 - 12時40分

### 第1部会 (司会: ①②武田裕紀/③④上野修)

- ① 筒井 一穂 「デカルトにおける学問知とハビトゥス」
- ② 榮福 真穂 「精神を「かたちどる」ものとしての観念—『省察』第二答弁附録「諸根拠」定義 2 再考—」
- ③ 田村 歩 「デカルトの形而上学的実験とパースのアブダクション」
- ④ 田中 佑樹 「横断モナドロジー—フェリックス・ガタリにおけるライブニッツ哲学の意義」

### 第2部会 (司会: ①②原和之/③④小倉拓也)

- ① 井上 卓也 「「同一化」概念と心理学の再編成: 30年代のラカンにおけるメイエルソン主義」

- ② 佐藤 朋子 「精神分析経験と語りの条件セルジュ・ヴィデルマン『分析空間の構築』(1970 年)以後のフロイト派の言説」
- ③ 尾谷 奎輔 「道徳法則の両価性:ガタリとラカン」
- ④ 香川 祐葵 「物語の実存化機能について——スキゾ的還元の見点から」

#### 第3部会 (司会:①②③杉山直樹)

- ① 天野 恵美理 「ベルクソン『物質と記憶』における純粹知覚理論の成り立ちについて」
- ② 濱田 明日郎 「愛と物質—『道徳と宗教の二源泉』における目的論的記述をめぐって」
- ③ 長谷川 暁人 「変化する服装の根底にあるものは何か—ドゥルーズ、バルト、ベルクソンの概念を用い、ファッションの生成変化を考える」

#### 第4部会 (司会:①②越門勝彦/③④岩野卓司)

- ① 菊池 壮太 「垂直のこころ、水平のこころ—リケールの思想における象徴の半透明化—」
- ② 池田 信虎 「フーコー哲学において自己を語るることについて」
- ③ 林 宮玉 「ジョルジュ・バタイユの「アンファン」について」
- ④ 嶺村 慧 「翻訳の脱構築—ジャック・デリダ「relevante な翻訳とは何か？」について—」

#### シンポジウム 14時—17時30分

- ・テーマ: 17・18世紀フランスの医学と哲学
- ・司会: 香川 知晶 (山梨大学)
- ・提題者: 谷川 多佳子(筑波大学) 「メランコリーと不安—デカルトからライプニッツ、その周辺」  
寺嶋 雅彦(早稲田大学) 「初期近代西欧における「熱狂」(という病)をめぐる言説—フランス預言派、シャフツベリ、ライプニッツ—」  
山口 裕之(徳島大学) 「コンディヤック『動物論』における生命論」

\*オンライン開催による会員間の交流機会の減少を補うため、プログラム終了後に、Spatial Chatを使った懇親会を企画しています。使用マニュアルも含めて、詳細は「オンライン大会の手引き」等の送付時に合わせてお知らせいたします。

#### 【お知らせとお願い】

##### 1. 学会誌電子化について

会報95号でお知らせした通り、2021年9月11日の総会で、次号の27号(2022年9月刊行)から学会誌を電子ジャーナル化することが決定いたしました。その後、J-Stageへの登録も完了し、準備を進めています。刊行時期は、例年同様2022年9月初旬となる予定です。

##### 2. 2022年秋季大会・2023年春季大会のシンポジウムについて

2022年秋季大会(9月10日、明治大学)のシンポジウム企画は「ブルーストと哲学(仮)」(企画責任者:澤田直理事、提題者:湯沢英彦(明治学院大学)、黒木秀房(立教大学)、澤田直(立教大学、兼司会))、2023年春季大会は「七月王政とフランス思想(仮)」(企画責任者:村松正隆理事)に決定しています。いずれも周到な準備が進められており、充実した企画になることと思います。どうぞご期待下さい。

### 3. 次期理事選挙について

今年度は現執行部・理事の任期(3年)の最終年度となっており、次期理事の選挙が行われます。会員の皆様の声を学会運営に反映すべく、投票率の上昇に努めたいと思いますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 4. 会費納入のお願い

当学会の財政は構造的な危機に瀕しています。また、今回で3回連続のオンライン開催となりますので、学術大会の際に会場で直接会費を納入していただけない状況が続きます。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます(下記の学会振替口座から常時お振込みいただけます)。なお、3年間の会費滞納が確認された方には「学会誌」の発送、5年間の滞納が確認された方には「会報」の発送を停止しています。

### 5. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。今回のようにオンライン大会になりますと、どうしてもメールでの一斉連絡が必要になります。ぜひご登録下さいますようお願いいたします。

#### 【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会